



緑区医師会

在宅医療相談室 だより

第4号

在宅医療について考えよう

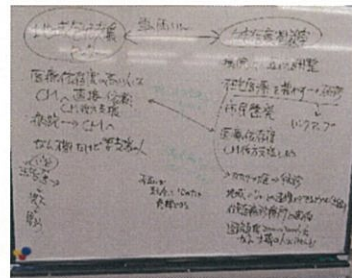
2月20日(土)大田区で活躍されている鈴木央先生をお招きし、かかりつけ医をもつ重要性和在宅医療での役割について、市民向け講演会をハーモニーみどりで開催いたしました。まず、驚いたのは、81名の参加者の皆様方。在宅医療という言葉が遠いものではなくなったことを実感した日でした。先生のご経験談から、「生き」「死に」についても深く考えました。



多職種連携会議

2月9日(火)19時半より医師会館におきまして多職種連携会議が開催されました。今回は緑区医師が7名、行政職員、包括支援センター職員で『医療と介護は連携できないのではないか?』とややシュールな内容でディスカッションを行いました。

それぞれから熱い意見が飛び交い、医師においては治療方針の論議にもなり、結局、連携の重要性を強く実感し、帰途につく形となりました。帰りは有志で「多食酒連携」(笑)会に引き続き、またまた熱い論議になり、長い夜の会は終了となりました。毎回の話の積み重ねは大切ですね。来年はどのような会になっていくのかが、楽しみにになります。



市民啓発事業について

医療と介護について語ろうカフェ

月1回開催される語ろうカフェ。参加される皆様が興味をもたれる話題のひとつに「栄養」があげられます。2月も今年2回目、管理栄養士の八塚泰子先生のお話。今は気軽に購入できるお惣菜。どういう組み合わせで食すといいのか、興味深いお話がありました。しかし、参加される方々はほとんどが手作りで「お惣菜なんか買わないよ!」と・・・参加される皆様の健康に対する意識の高さに

“びっくりポン”

多くの質問もあり、盛り上がっているカフェでした。



在宅ケアに関わる方のための医療講座

2月17日、さなえ薬局中村氏より在宅でのお薬についてご講演いただきました。ご高齢になりますと、多くの種類のお薬をのんでいらっしゃる方も少なくありません。皆様の不安も大きいとのことで多くの質問もありました。カフェや講座の講師は医師や看護師のみならず、歯科医や薬剤師の先生方にもご協力いただいた1年でした。ありがとうございました。



来年度の予定 (お問合せは 電話 045-937-2303)

また、さまざまな勉強会や研修、医療講座も予定しております。その都度、ご案内をだして参ります。郵送希望の方はぜひご連絡ください。

どうぞよろしくお願いいたします。(担当 三澤 浜田)